

H3年11月
三宅税理士事務所 開業

H3年11月
岡本 入社

H6年8月
三宅 入社

H7年12月
山本 武史 入社

H17年4月
日帰り旅行
in 福山

日帰り旅行。
福山でステーキランチ、
鞆の浦でちくわ作り体験をしました。



第1号は、その当時一番若かった高木が担当致しました。Progress 進歩というタイトルどおり、その歳月は高木を始め若い人財をひと回りもふた回りも成長させてくれました。そして100号。最年長の私が担当させて頂く事になりました。100号は通過点です。これからも、お客様のお役にたつ情報をコツコツと送り続けて参ります。どうぞよろしくお願いたします。岡本 清美

第100号。月1回発行ですので、100ヶ月。稿を起し、回覧して、チェック。作成した事務所通信を、郵送させていただく。毎月の光景ですが、続いてきたのはスタッフと読んで下さる皆様のおかげと思います。(私は、新年のご挨拶だけ参加させていただいております)各号、作成者のアイデアが盛り込まれ、楽しみにして下さっている方も多いのではと思います。これからもよろしくお願いたします。三宅 佐知子

100号の節目を迎え思い返してみると、第1号は2007年6月に発行しています。それから一月も欠かさず発行し続け8年と4ヶ月、私の担当させて頂いた事務所通信は13回となりました。私の担当した最初の事務所通信はA4一枚、今見返し見ると発行する事に精一杯の内容だったと思います。発行する事に意味があるのではなく、読んで頂けるからこそ意味のある事務所通信です。100号はまだ通過点、回を重ねる毎に少しずつ改良・改善をし、発行するものから読んで頂くものへと読み手の視点に立って作成出来るよう、これからも事務所通信とともに、Progressのタイトルに負け無いうように進歩発展していきたいと思ひます。山本 武史

H27年9月
事務所通信
100号

お役に立つ情報をお届けできるよう、これからも頑張らせて参ります。



H27年4月
山本 翼 入社

100号発行を機にProgressを読み返してみましたが、我が先輩ながら本当にすごいです！これから私がProgressを手がけさせていただくときには、先輩方がここまで積み重ねてこられた努力の重みを感じつつ、そしてそこに私も加わることが出来るという喜びを噛み締めながら、これからも一歩一歩素晴らしい事務所通信にしていきたいと思ひます。山本 翼



100号の発行に感謝
大切なお客様に少しでも多くの情報提供をさせて頂き、「経営のお役に立ちたい」と考え、今から約8年前に名称を、「Progress」とスタッフ全員で決めて、事務所通信の発行をスタートさせて頂きました。お客様や金融機関の方が読んでくださることが、私達、スタッフの大きな励みになっています。ありがとうございます。私は「継続は力なり」という言葉が大好きで、税理士試験の受験勉強中も机の前の壁に自ら書いて、貼っていました。この度、事務所通信が100号を迎えることが出来たのも、毎月の担当者が一所懸命タイムリーな内容を考えて作成し、また翌月号へと欠かさず、襷を繋いでくれたおかげです。取り組み続けること、まさに「継続は力」です。スタッフに心から感謝しています。さて、事務所通信Progressの発行開始からこれまでを振り返ってみますと、平成19年10月には、倉敷健康福祉プラザにて中村文昭様の講演会を開催し、約300名の方にご参加頂きました。同じ頃、隣の2階建ての建物から現在のビルの3階に事務所を移転し、全ての書類・備品などを1日で引っ越し、事務所の床面積が前の3倍近くになりました。私自身も、お客様のご理解、スタッフの協力、大学院教授のご指導により、平成20年3月には、岡山大学大学院 社会文化科学研究科(修士課程)を修了し、MBAの取得を致しました。その後、今まで以上にお客様のお役に立ちたいと考え、平成26年8月に三宅税理士法人へと組織変更させて頂いております。これから、200号を目指してスタッフ全員で力を合わせて発行して参りますので、引き続き、お手に取ってご覧頂けたら幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。税理士 MBA 三宅孝治

ありがたい事に、記念すべき第1号を担当させて頂きました。入社2年目に入ったばかりの頃でしたし、読みやすさや内容の分かりやすさ、「伝える」という事とはどういうことなのか。という試行錯誤の中、発行に至ったことを思い出します。毎回、その時に1番良い形で発行しているつもりですが、見返してみると未熟な部分がたくさんあります。事務所通信のタイトルProgressという単語には進歩、発達、発展という意味があります。1回担当するごとに進歩できているか。お客様のお役に立てる内容をお届けできているか。税理士法人としても発展し、前進しなければならない時だと私は思っています。100号までは長い道のりだと思っていましたが、あっという間に感じます。1日1日を大切に、自分自身の進歩の為にこれからも頑張らせて参ります。高木 麻衣

H18年4月
高木 入社

H19年6月
事務所通信
1号発行

H26年8月
税理士法人
設立



事務所通信第100号記念特別号



事務所風景

H26年2月
鳥越 税理士登録



H19年9月
インターンシップ
初受入

H19年10月
事務所主催
「中村文昭氏
セミナー」

H19年10月
事務所移転



「人のご縁で、でっかく生きる！」

現在の場所へ移転しました。

発行担当が月替わりで作成しております事務所通信。各回で色合いが異なるのはそのためです。ですが、「お客様に届けたい」という思いは各回に共通です。一瞬でも目に留めて頂けたら幸いです。今後ともよろしくお願致します。田村 和輝

H20年4月
田村 入社

入社してから4年半経過し、担当させて頂いた事務所通信は7回になりました。Progress~進歩~を意識しながら、時にもがきながら作成してまいりました。今回100号を迎えますが、Progressを読んでいただけるお客様がいっぱいいるからこそ、スタッフ一同で取り組んでおります。今後もお客様のお役に立てるよう作成し続けてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。山崎 亜紀

H23年1月
山崎 入社



H22年10月
研修・社員旅行
in 栃木



開業以来、初めての一泊旅行。1日目は全国の税理士・事務所スタッフが集まり、意見交換等の勉強会。2日目・3日目は、鬼怒川温泉等、旅行を楽しみました。

毎月発行させていただいている事務所通信。持ち回りで担当が変わるこの制度は、図らずとも何より自分自身が勉強になります。記事を読んでいただくお客様にとって、有益な情報であるか、この情報は本当に正しいか、タイムリーなものになっているか……。テーマを決めた後も深く深く内容を掘り下げ、また、どなたが読んで分かりやすい内容になるよう文章を練り直しながら、必死で作成しております。私が初めて担当させていただいたのは第31号でしたが、あれから回を重ね少しは成長できているでしょうか。今後とも皆様にとって少しでも多くのお役に立つ情報を掲載できるよう頑張ります。鳥越 俊佑

H21年8月
鳥越 入社